

透光防波柵

登録番号:特許 第5110501号

出願番号:特願2007-033793号 出願日:2007年2月14日 公開番号:特開2008-196236号 公開日:2008年8月28日

発明/考案の名称:透光防波柵

特許権者:独立行政法人土木研究所、AGCマテックス株式会社

キーワード 越波対策、越波防止柵、防護柵、遮音壁、投物防止柵**目的**

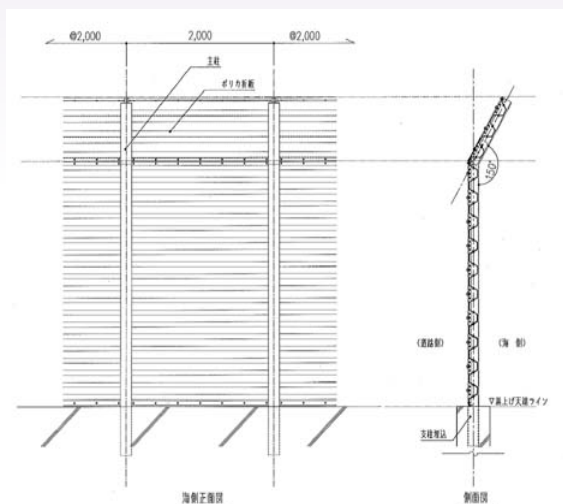
海岸沿いの道路などを越波から防護することができ、透明で視界も充分確保できる比較的安価な透光防護柵に関する技術である。

効果

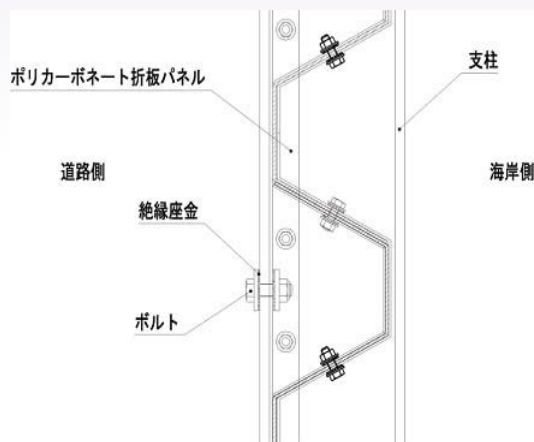
従来技術の有孔鋼板などからなる防波柵では、周囲の視界を遮ることから、景観上また交通安全上好ましいとは言えず、遮光により融雪や樹木の生長を阻害するなどの欠点があった。また外光を取り入れる必要がある箇所では、透明なポリカーボネート平板との組み合わせを採用する必要があるが、平板の場合、波力などの荷重に耐えるために板厚の厚い部材が必要で、加えて窓枠サッシが必要となるため、コストが非常に高いものとなる。

技術概要

本技術では、ポリカーボネート板を折板形状に成形加工することにより、大きな断面係数を持たせ板厚を極端に薄くすることが可能となり、材料コストを低減、耐衝撃性の向上を図った。また、面構造をパネル化することにより工期短縮をも図ることができた。



施工例全体図



ポリカーボネート折板固定方法



寒地土研角山ヤード放水実験



白老バイパス越波柵設置状況